

環境部会

しあわせの村で市民バードウォッチング
「野鳥と自然観察会」代表 (生11) 茅中 英一

平成19年5月にスタートした市民探鳥会は南の国から子育てのために渡って来た夏鳥達を迎えて5回目となりました。

5月10日(日)恒例となって来た「しあわせの村・市民探鳥会」は眩しさを増す新緑の中、63名の市民が参加して開かれました。芝生広場で9時30分から受付を始め、早めに受付を済ませた人は、“わ”「野鳥と自然観察会」のサポーター10余名から、周辺に展示した野鳥の巣箱や巣やパネルの説明を受けたり、双眼鏡の扱い方の指導を受けていました。

5回目を迎えた市民探鳥会

63名が参加18種類の野鳥を確認

定刻の10時となり、畑中事業推進課長が村の良さを満喫されるようPRされ、ついで“わ”「野鳥と自然観察会」の世話人代表が、コース、野鳥種等につき説明し、経験者と初心者の2グループに分かれて、10時20分に出発しました。コースは、芝生広場から鎮守の森へ行き

巣箱を観察し、日本庭園の中を
通って、P4駐
車場の横を下り
ピオトープに立
ち寄り、堂坊池
を通り、星の広
場に立ち寄った



後、芝生広場へ戻る3.5キロメートル、約1時間40分のコースでした。堂坊池では、カイツブリが対岸の水辺の浮き巣で卵を温めている様子が見られ参加者は感動していました。また一瞬でしたが美しいカワセミが飛ぶ姿も見られました。テントキャンプ場近くの星の広場周辺では、夏鳥のオオルリ、キビタキ、センダイムシクイなどの美しいさえずりが聞かれました。

芝生広場へ帰って来た後の「鳥合わせ」では、初めての試みで観察出来た主な野鳥の写真とその鳴き声を参加者に披露し喜ばれました。観察出来た野鳥は18種類で、内、姿11種類、声7種類でした。

最後にヤマガラやシジュウカラが巣立った後、巣箱から回収した野鳥たちの芸術作品とも言える巣材を希望者にプレゼントし、自然環境保護活動をPRして12時半に探鳥会を終えました。

[前のページへ](#)

市民参加 春の森林浴ウォーキング

市立森林植物園～布引～新神戸

環境部会長 (生11) 菅田 忠志

梅雨に入り、森林植物園の緑が一層映える季節を迎えた6月23日、あじさい祭りの期間でもある神戸市



立森林植物園から布引～新神戸に下るコースで“わ”が開催する一般市民を対象とした恒例イベント『森林浴ウォーキング』を実施しました。当日は運よく梅雨の晴れ間となり、今回も植物園主査の福本様に案内していただき、あじさいにまつわる興味深い話を聴きながらの森林浴ウォーキングとなりました。参加した22名のメンバーは、また一味ちがった植物園の楽しみ方をされたことと思われます。

新緑とあじさいを楽しむ

午後は、ツェンティクロスを経て布引へ。途中、満水状態の布引貯水池や水量豊富に落ちる布引の滝の景観を楽しんだ森林浴ウォーキングとなりました。

【参加者から届いた感想文】

今日はお天気を心配していましたが、素晴らしい晴天で良く歩き楽しい一日でした。あじさいはもう満開期を少し過ぎた感じでしたが、さすが森林植物園は美しく、何より新緑が素敵でマイナスイオンを一杯浴びました。ツェンティクロスは少し怖かったです。皆さんとキャアキャアと楽しく良い汗を一杯流しました。初対面の皆さんでしたが私達3人もすぐ仲良くなり、さすが“わ”だと今更ながら実感しました。

ありがとうございました。また参加したいと思います。首からぶら下げた万歩計が22,692! ほめてください!

KSC生活環境1年生校外授業

『人と自然の博物館』 学習を支援

今年もKSC生活環境コース1年生の授業「三田の県立人と自然の博物館の学習」サポート要請を受け、館内テーマブースの案内、知り得る範囲でのサポートを行いました。多くの常設展示のほか、このところ“三田恐竜”の話題も多く、興味深い校外学習のお手伝いことができました。

[次のページへ](#)